



クルマ・技術

2016/12/15

## 新型「マツダ CX-5」を発表

－ドライバーだけでなく同乗者も含めたすべてのお客さまを笑顔にするSUV－



マツダ株式会社（以下、マツダ）は、新型『マツダ CX-5』の予約受付を全国のマツダの販売店を通じて、本日より開始することを発表しました。メーカー希望小売価格は消費税込みで2,462,400円～3,526,200円、月間販売台数は2,400台を計画しています。なお、販売開始日は2017年2月2日の予定です。



「マツダ CX-5 XD L Package」

[すべての写真を見る \(5枚\)](#)

初代「CX-5」は、マツダの新世代商品群の第1弾として2012年2月に発売しました。同車は年々販売台数を伸ばし、マツダのグローバル販売の1/4を占める、基幹車種のひとつとなっています。

新世代商品群として初めてのフルモデルチェンジとなる新型「CX-5」は、ドライバーだけでなく同乗者も含めた「すべてのお客さまを笑顔にするSUV」をキーワードに、いまマツダがもつデザインと技術のすべてを磨き上げ、あらゆる領域で「走る喜び」を深化させたクロスオーバーSUVです。

デザインは「洗練された力強さ」をキーワードに掲げ、「魂動（こどう）-Soul of Motion」のコンセプトをより高い次元へと昇華させることに挑戦。つややかさと精悍さを融合させた外観と、すべての乗員が心地よさを感じられる内装に進化させました。またボディカラーには「魂動デザイン」の造形を質感高く際立たせる新開発の「ソウルレッドクリスタルメタリック」を初めて採用しました。



2017年



2016年



すべてのカテゴリー



企業情報



生産・販売



クルマ・技術



株主・投資家情報



CSR・環境・社会活動



その他



2015年



2014年



2013年



2012年



2011年



2010年



2009年



また新型「CX-5」では車両運動制御技術「SKYACTIV-VEHICLE DYNAMICS（スカイアクティブ ビークル ダイナミクス）<sup>\*1</sup>」の第1弾「G-Vectoring Control（G-ベクタリング コントロール）」を搭載するなど、ドライバーの意のままのパフォーマンスフィールと、優れた静粛性や乗り心地など同乗者の快適さを両立する走行性能を実現しました。さらにマツダ国内仕様車として初採用となる、マツダ・レーダー・クルーズ・コントロール（MRCC）による0～100km/hの間での追従機能など、安全性能やヒューマン・マシン・インターフェース（HMI）の領域でも大きく進化をしています。

マツダの小飼 雅道（こがい まさみち）代表取締役社長兼CEOは、「新型『CX-5』は『ドライバーの走る喜びと同乗者の快適性はトレードオフの関係にある』という従来の常識をブレイクスルーすることを目標に掲げ、すべてを磨き上げました。マツダは今後も継続的な進化を続け、すべてのお客さまに走る喜びをお届けすることで、お客さまとの間に特別な絆を持ち、選ばれ続けるオンリーワンのブランドになることを目指してまいります」と述べました。

この新型「CX-5」をいち早くご体感いただけるよう、一般のお客さまを対象にしたプロトタイプ先行展示イベントを12月15日（木）より順次全国6地域（首都圏、近畿、東海、東北、北海道、九州）で実施します。詳細は専用サイト（[http://www.mazda.co.jp/beadriver/event/cx-5\\_rf/](http://www.mazda.co.jp/beadriver/event/cx-5_rf/)）をご確認ください。

## ■新型「マツダ CX-5」の概要は以下のとおり

### ●洗練さと力強さを備えた、研ぎ澄まされた美しさを追求したデザイン

「REFINED TOUGHNESS＝洗練された力強さ」をキーワードに掲げ、「成熟した骨格」「品格のあるフォルム」「仕立ての良い質感」の3つを軸に、エクステリア、インテリアデザインをつくり上げました。

#### エクステリアデザイン

- ・フロントからリアへと一気に突き抜ける動きでスピード感を表現。強い前進感とスタンスを強調する骨格、シンプルな造形の中に美しい映り込みを造り込んだフォルム、彫りの深いディテールデザインにより、つやめきある精悍なエクステリアを実現。
- ・前後トレッドを先代モデルから約10mm拡大し無駄を削いだシンプルな台形フォルムでスタンスのよさを強調。立体感を強めたシグネチャーウイングの先端をヘッドランプ下側に通し力強いワイド感を実現。
- ・フロントグリルは立体形状を組み合わせた精緻なパターンを採用。グリル面から突出させたブランドシンボルと相まって、奥行き感とスポーティさを演出。
- ・「魂動デザイン」の造形美をより質感高く際立たせるために、「ソウルレッドプレミアムメタリック」で創り上げた生命力にあふれたエネルギッシュな強さと鮮やかさ、濁りのない深みとつや感を進化させ、より高次元で両立させた新しい「赤」の特別塗装色「ソウルレッドクリスタルメタリック」を採用。他、「マシーングレープレミアムメタリック」など、全8色を設定。

#### インテリアデザイン

- ・ドライバーを中心に操作機器や計器類を左右対称に配置。ステアリングホイールの中央からインストルメントパネルの加飾、左右の空調ルーバーの高さを揃えるとともに、ドアトリムの加飾も水平基調の造形としたことで、ドライバーが運転に集中でき、ダイナミックな広がり感のある空間を実現。
- ・デコレーションパネルには新開発の加飾フィルムを採用<sup>\*2</sup>。12層の印刷とコーティングを重ねることで、単純なウッドや金属とは一味異なる、深みのある表情を持った質感を表現。
- ・サイドデミスターとツイータースピーカー<sup>\*3</sup>をAピラーに配置し、すっきりとしたデザインを実現。
- ・シートには厚みのある座面、立体感のあるボルスターやショルダーの造形でSUVに相応しい力強さと安定感を強調。表面の縫製の質感にも拘り、見るたび触れるたびに深まる上質な仕立ての良さを表現。
- ・インテリアカラーはレザー2種類（ピュアホワイト・ブラック）とファブリック1種類（ブラック）を設定<sup>\*4</sup>。それぞれインストルメントパネルを境に上下で色を使い分け、クルマとの一体感と空間の広がり感を演出。

### ●全乗員の居心地のよさを追求したパッケージング

ドライバーだけでなく、乗るすべての人がドライブをゆったりと楽しめる、心地よい居住性を実現しました。

#### 室内の静粛性

- ・パーツ形状の最適化による振動そのものの最小化や、細かく振動をコントロールする工夫により、特に粗い路面での低周波のロードノイズを低減。

車内への音の侵入経路を徹底的に遮断するタイヤ騒音対策や、空気の流れを乱さない空力形状を採用する

2008年 +

RSSニュース配信 >

#### 最新ライブラリー

会社概況 >

サステナビリティレポート >

などの風騒音対策により、高速走行時の高周波のタイヤ騒音と風騒音を低減。走行騒音を、先代モデル比で約20km/h低い車速騒音レベルに低減。

### **疲れにくさと運転のしやすさを高めるシート**

- ・フロントシートはシートバックに体圧を分散できるサスペンションマットを採用するとともに、シートバックの場所ごとに剛性を最適化。「体幹」をしっかりと支えることで、安心感と快適性が向上。座面には人間が不快に感じる振動だけをカットする高減衰ウレタン素材を新採用。
- ・リアシートはシートの傾き角度を先代モデルから2度拡大。またシートバックを倒せるリクライニング機構を採用。

### **実用性を突き詰め、無駄のない使いやすさを実現**

- ・ラゲッジルームは定員乗車時にもゴルフバック4つ、72型のスーツケースであれば3つを積み込める505L（DIN方式、サブトランク含む）の容量を確保。
- ・開閉ユニットは小型・軽量で見栄えもシンプルなスピンドルダンパー式のパワーリフトゲートを採用\*5。ゲートの開閉は運転席横スイッチ、リフトゲートスイッチ、さらにアドバンストキーでも可能。ゲートの開度は無段階にメモリー設定可能。またゲート内側の左右にタッチセンサーを配置し、ゲートへ手などを挟み込む危険を低減。

### **●「人馬一体」がさらに深化した走行性能**

ドライバーだけでなく乗るすべての人が走る喜びを感じられるよう、パワートレインからハンドリング性能、乗り心地、静粛性など、すべての性能を磨き上げ、心地よく爽快なパフォーマンスフィールと同乗者の快適性を両立させました。

### **パワートレイン**

- ・SKYACTIV-D 2.2は、アクセル操作に対するクルマの反応をよりダイレクトにする「DE精密過給制御」、ノック音を低減する「ナチュラル・サウンド・スムーザー」、ノック音の発生そのものを極限まで抑制する「ナチュラル・サウンド・周波数コントロール」を採用。走りの滑らかさと静かさが深化。
- ・SKYACTIV-G 2.5は、実用燃費性能を高めるため、ピストンのオイルリングに上下非対称形状を採用し、ピストン周りの油膜の厚さを最適化。機械抵抗を大幅に低減し、燃費性能の向上に貢献。
- ・SKYACTIV-G 2.0は、13.0の高圧縮比やキャビティ付ピストン、4-2-1排気システムなどにより、優れた燃費性能と力強い中低速トルクを実現。
- ・オートマチックトランスミッションSKYACTIV-DRIVEは、車速やアクセル開度、エンジン回転数などからドライバーの操作の意図を読みとってシフトする新しい変速制御を採用。特にコーナリング中やコーナーを立ち上がるときの不要な変速を抑えることで、滑らかな挙動を実現。
- ・ドライバーのハンドル操作に応じてエンジンの駆動トルクを緻密に変化させることで、横方向と前後方向の加速度を統合的にコントロールする技術となる、新世代車両運動制御技術「SKYACTIV-VEHICLE DYNAMICS\*1」の第一弾「G-Vectoring Control」を全車に標準装備。

### **SKYACTIV-CHASSIS**

- ・ステアリングシステムはコラム式電動パワーステアリングを採用。ステアリングマウントをリジッドマウント化し、思いのままの操作性とステアリング剛性を両立。
- ・サスペンションシステムは、フロントにマクファーソンストラット式、リアにマルチリンク式を採用。
- ・ブレーキシステムはフロントにベンチレーテッドディスク、リアにソリッドディスクを採用。

### **SKYACTIV-BODY**

- ・最新のCAE解析を駆使した効率的な補強の他、Aピラーやサイドシルなどに軽く強度の高い超高張力鋼板を採用。先代モデルに対しねじり剛性を15.5%高め、操作に対する車体の応答遅れを低減。

### **ドライビングポジション**

- ・運転席に座ったドライバーの体の中心を軸とし正面にステアリングホイールを、自然に足を開いた位置にペダルを配置するマツダ車共通のコクピットやオルガン式アクセルペダルを新型「CX-5」でも採用。
- ・シフトノブの位置を先代モデルから約60mm上方に設置することでステアリングホイールからの持ち替えがよりすばやくでき、操作性も向上。

### **●安全性能とヒューマン・マシン・インターフェイス（HMI）**

すべてのドライバーが、すべての環境で安心してドライブを楽しめることを目指し、新型「CX-5」ではアクティブセーフティとパッシブセーフティの進化に加え視認性の向上にも注力しました。

### ヒューマン・マシン・インターフェイス (HMI) の進化

- ・フロントガラスに情報を表示するアクティブ・ドライビング・ディスプレイ\*6を新採用。
- ・見やすさを高めた新構造の7インチWVGAセンターディスプレイをダッシュボード上に配置。
- ・高精細4.6インチTFTカラー液晶を採用したマルチインフォメーションディスプレイ\*6や、インジケーター類のレイアウト刷新により、メーターの瞬間的な読み取りやすさを向上。

### 安全性能の進化

- ・マツダ・レーダー・クルーズ・コントロール (MRCC) は追従可能な速度域の下限を従来の30km/hから0km/hへと拡大。これにより0~100km/hの間での追従走行が可能。
- ・「アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) 」に、12分割のLEDブロックを採用する単眼式ユニットを採用。
- ・車両や障害物に加え、歩行者の検知も可能な「アドバンスト・スマート・シティ・ブレーキ・サポート (アドバンストSCBS) 」と速度制限・進入禁止・一時停止の交通標識を認識し、アクティブ・ドライビング・ディスプレイに表示する「交通標識認識システム (TSR\*7) 」を採用。

### ■「マツダ CX-5」のメーカー希望小売価格 (消費税込) は以下のとおり

(※写真掲載のモデル)


機種名	駆動	エンジン	変速機	メーカー希望 小売価格 (消費税込)	JC08モード燃費*8	
					17インチ タイヤ装着車	19インチ タイヤ装着車
20S	2WD (FF)	SKYACTIV- G 2.0	SKYACTIV- DRIVE (6EC- AT)	2,462,400 円	16.0 km/L	
20S PROACTIVE				2,689,200 円	16.0 km/L	
25S	4WD	SKYACTIV- G 2.5		2,689,200 円	14.6 km/L	
25S PROACTIVE				2,916,000 円	14.6 km/L	
25S L Package	2WD (FF)	SKYACTIV- G 2.5		2,986,200 円	14.8 km/L	
	4WD			3,213,000 円	14.6 km/L	
XD	2WD (FF)	SKYACTIV- D 2.2		2,775,600 円	18.0 km/L	
	4WD			3,002,400 円	17.6 km/L	17.2 km/L
XD PROACTIVE	2WD (FF)			3,002,400 円	18.0 km/L	
	4WD			3,229,200 円	17.6km/L [17.2km/L]	17.2 km/L
XD L Package*	2WD (FF)		3,299,400 円	18.0 km/L		
	4WD		3,526,200 円	17.2 km/L		

・ [ ] 内は、パワーリフトゲートもしくはBose®サウンドシステム装着車の場合。

・上記価格には保険料、税金は含まれておりません。また購入時にリサイクル料金12,860円が別途必要です。

・特別塗装色「ソウルレッドクリスタルメタリック」を選択した場合は、75,600円高 (消費税込) 。

- ・特別塗装色「マシニンググレープレミアムメタリック」を選択した場合は、54,000円高（消費税込）。
- ・特別塗装色「スノーフレイクホワイトパールマイカ」を選択した場合は、32,400円高（消費税込）。
- ・「XD」「XD PROACTIVE」「XD L Package」はクリーンエネルギー自動車導入促進対策費補助金の対象車です。

 [主要諸元 \[PDF形式\]](#)

- \*1 エンジン、トランスミッション、ボディ、シャシーなどのSKYACTIV技術群を統合的に制御することで、「人馬一体」の走行性能を高める新世代車両運動制御技術の総称。
- \*2 25S L Package、XD L Packageに設定。
- \*3 20S PROACTIVE、25S PROACTIVE、25S L Package、XD PROACTIVE、XD L Packageのメーカーセットオプション「Bose®サウンドシステム」（86,400円（消費税込））装着車に設定。
- \*4 レザー（ピュアホワイト、ブラック）は25S L Package、XD L Packageに設定。ファブリック（ブラック）は20S、20S PROACTIVE、25S、25S PROACTIVE、XD、XD PROACTIVEに設定。
- \*5 25S L Package、XD L Packageに標準装備。XD PROACTIVEにはメーカーセットオプション「パワーリフトゲート」（54,000円（消費税込））を選択することで設定可能。
- \*6 20S PROACTIVE、25S PROACTIVE、25S L Package、XD PROACTIVE、XD L Packageに設定。
- \*7 Traffic Sign Recognitionの略。
- \*8 JC08モード燃費は、国土交通省審査値で、燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客さまの使用環境（気象、渋滞等）や運転方法（急発進、エアコン使用時等）に応じて燃料消費率は異なります。
- \*9 取得税/重量税の減税レベルについては、環境対応車普及促進税制による減税措置。

[一覧に戻る](#)

企業	ブランド	ニュース	CSR	株主・投資家情報	採用
コーポレートビジョン	ブランドストーリー	ニュースリリース	特集	経営方針	新卒採用情報
会社案内	カーラインナップ	ソーシャルメディア	CSRへの取り組み	IRカレンダー	事務・技術系キャリア採用情報
企業スポーツ活動	デザイン	マツダ公式ブログ ZOOM-ZOOM BLOG	環境保全への取り組み	業績・財務データ	高校生採用情報
マツダミュージアム	テクノロジー	MAZDA MOVIE CHANNEL	安全への取り組み	IR資料	技能系期間社員採用情報
キッズミュージアム	モータースポーツ	イベント情報	社会貢献への取り組み	株式・社債情報	障がい者採用情報
DISTRIBUTOR LIST	ドライビングアカデミー	MAZDA LIVE TV	社外からの主な評価	個人投資家の皆様へ	マツダ販売会社グループ採用情報
	ロードスター25周年		ガイドライン対照表	電子公告	その他採用情報
			2014年度版アンケート結果	情報開示について	
			編集方針		
			リサイクル法への取り組み		

[サイトマップ](#)

[このサイトについて](#)

[個人情報の取り扱い](#)

フォローする:

